

【南区】平成 31 年第 1 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	平成 31 年 2 月 4 日(月) 午後 2 時～ 3 時
場 所	南区役所 6 階 特別会議室
出席者	<p>【座 長】 渋谷健議員</p> <p>【議 員：4 名】 遊佐大輔議員、荒木由美子議員、仁田昌寿議員、伊藤純一議員</p> <p>【南 区：25 名】 大木節裕区長、池尻恵子副区長、北川寛直福祉保健センター長、古橋正人福祉保健センター担当部長、國本直哉土木事務所長、小出健消防署長（災害対策担当部長）ほか関係職員</p>
議 題	平成 31 年度個性ある区づくり推進費南区予算案について
発 言 の 要 旨	<p>【荒木議員】</p> <p>減災の新規事業で、防災マップの作成・全戸配布について、これまでも地震の備えなど色々な物が配られている中で、今回配ったあとの活用方法を心配しており、これまで配られている物品がどう活用されたのか検証した上で配布すべきだと思います。全戸配布する防災マップの活用方法について、どう考えているのでしょうか。</p> <p>【野坂総務課長】</p> <p>防災マップを新規に作成する理由は、昨年、いわゆる「レッド指定」があり、土砂災害の警戒のエリアが変わったこと、また、神奈川県の大岡川水系の浸水想定区域が、これまで 100 年に一度のレベルが、1000 年に一度のレベルの浸水想定に変更されたことがあります。また、従来は土砂災害や浸水区域の地図がばらばらだったので、1 枚で見てわかるような地図を作成しようと考えました。配布につきましては、時期の問題等もありますし、作ったものをただ配布すればよいということではないと思いますので、お配りしたものを、例えば、ご近助講座などで活用していただければと思います。</p> <p>【荒木議員】</p> <p>マップなので折り畳んで裏面を啓発などに活用できると思うので、ぜひお願いします。特に、市民の皆さんは、食糧の備蓄には目が行っているが、</p>

トイレパックには全然目が行っていないことから、啓発で強調すべき点も考えなければならないと思います。

それから、即時避難勧告対象者の避難がどうしてできていないのか、総務局がアンケートを行うことになりました。対象となっているのに、自分で避難できない人への対応策が全くできていないので、その人たちの避難方法も考えてあげるべきです。メールも配信しているのに、避難所を開設しても誰も来ないということが繰り返されているので、どのような対策を講じるのか教えてください。

【野坂総務課長】

毎年、出水期前には、土砂災害の即時避難勧告の対象区域の方にポスティングをしています。そこではEメールやファックスの登録のお願いをしています。Eメール等を受け取ったら、どのように行動するのかということが、広島の高雨の時には問題になりましたが、まずは、情報を確実に伝えることに力を入れなければいけないと思っています。対象者の移送の問題についても、そのような場合には共助でお願いせざるを得ないのかなと思っています。

【荒木議員】

区役所職員の人員には限界があり、そこを考えないといけないと思います。地域にも考えてくれる方はたくさんいらっしゃるの、地域防災の考え方について、もう一歩進めてください。

次に、特定健診受診率向上事業ですが、私のところにも個別通知などが送られて来て、頑張っているなあと思っています。目標も当然あると思うのですが、個別に勧奨をしたり、直接電話することで、受診率は向上しているのか教えていただきたい。

【新堀保険年金課長】

平成30年12月27日時点の南区の速報値は9.2%です。昨年度同月の速報値が9.7%で、約0.5%下がっています。ちなみに、横浜市全体の速報値は11.1%、昨年同月が10.8%で、0.3%上がっています。

【荒木議員】

電話勧奨の他にも、南なんデーなどでもアピールしたり、町内会や保健活動推進員さんも頑張っているのに、受診率を上げていくのは、難しいですし、区民の意識レベルを上げるのは並大抵なことではないと思います。だから、地域福祉保健計画を見直すにあたって、特定健診受診のモチベーションを上げるような工夫をしてほしいと思います。

次に、南まつりについて、先般、地域振興課長から説明を受けましたが、7月の日程を動かしたくないという地元のニーズならば仕方がないと思

発言の
要旨

いますが、猛暑対策としてミスト付テントや冷房が効いた休憩場所を用意するという対策だけでは十分とは思えません。開催時間をもう少し短縮したり、区役所職員も2日間、実際には一週間以上準備などで、大変な思いをしていると思いますが、この予算でどのレベルまでやろうと考えているのでしょうか。

【鈴木地域振興課長】

南まつりでは、暑さ対策に力を入れていきたいと思っています。開催時間は、段階的に繰り下げてきましたが、今後は午後4時開催から4時半にしたいと考えています。それから、従事者には冷房の効いた部屋で必ず30分休憩を取っていただき、健康面で配慮をしたいと思っています。出店者ごとに熱中症対策リーダーを決めて、スケジュール管理をしていただき、確実に休憩を取ってもらうとともに、区職員による放送やパトロールをとおし、従事者の休憩は徹底していきたいと思っています。また、ミスト付きの休憩テントを増やし、来場者の方もお休みができるようにするとともに従事者の方には、スポーツドリンクや塩飴、ネッククーラーなどを配るなど、更なる対策を講じたいと考えています。そして、課題が出てくれば、見直しをしていきたいと思っています。

【荒木議員】

いろいろと考えていただき、できる限りの対応をしようという意気込みはよくわかりますが、この予算額で本当に十分なのか心配になるので、まつりに寄付していただく方たちの御協力を得ながら、是非、事故が起きないようにお願いします。

みなみ商店街等活性化事業について、区役所で朝市を開催するなど、かなり商店街振興にも力を入れていただいています。商店街と企業等の地域の連携強化を図るとのことですが、もう少し詳しく説明していただけますか。

【鈴木地域振興課長】

商店街を応援するという立場から、商店街サポーターというボランティアを募集し、商店街が実施するイベントなどのお手伝いをしてもらっています。それから、商店街が地域貢献等を発信するための広報ということで、区が商店街を一方的に応援するだけでなく、商店街や企業が地域貢献をしていただくような取組も進めています。その一つは、商店街の方が講師となって各店舗で講座をする「まちゼミ」、もう一つは、企業等の連携強化として、横浜総合高校の生徒が社会に出ていくために勉強になるようなことを社会人と話すような取組を、事業会などと連携して進めているところです。

発 言 の
要 旨

発 言 の
要 旨

【荒木議員】

市工連とは連携しているのでしょうか。

【鈴木地域振興課長】

横浜総合高校との取組などは、事業会にお声を掛けています。

【荒木議員】

事業会が商店街の店舗の皆さんとも連携が取れるような仕組みはあるのでしょうか。

【鈴木地域振興課長】

商店街と事業会とが連携した取組は、今のところ無いと思います。

【荒木議員】

そういうコラボも面白いと思います。特殊な事業をしている方々の集まりなので、要望があれば、それぞれのトップたちが意見交換する場を作ってみたらどうでしょうか。商店街も事業会も中小企業なので、後継者がいないという共通の悩みがあるので、経済局にも入ってもらい、話し合う機会を今後考えていただければと思います。

最後に、管理不全空家対応モデル検証事業ですが、南区もかなり増えていて、先日も三春台方面の地域の方から、空家にネズミや不衛生な動物が繁殖しているが、壊すこともできないし、所有者もわからず、地域も困っているという相談がありました。町内会として、区役所に対応策を考えてもらったかどうかとお話をしたが、区役所のほうも抜本的に解決できる限度もあると思います。その対応はどのようにするのか、手続論を教えてください。

【黒田区政推進課長】

空家対策は、初動は区役所が行いますが、程度が進んでいるものは建築局に引き継ぐという仕組みです。区役所に空家に関する通報を区民から頂いた場合、現地を調査した上で、戸籍や課税などの情報を活用し、所有者を特定する作業を行います。特定できたら、その空家の所有者に対して、空家の状態をお伝えし適正な管理をお願いする初期指導を行っています。その指導になかなか反応されない、あるいは反応されても対応されない方に対しては、経過観察をした上で、状況に応じて、初期指導を繰り返します。ただ、建物自体が非常に危険性が高いなど、一定程度の審査基準を超える物件につきましては、建築局に指導を引き継ぎ、建築局が持つ権限での指導で対応しています。

【荒木議員】

建築局は、倒れそうだとか危険だという判断を行うだけだと思いますが、今回のように不衛生な動物が出たような問題は、建築局だけの話では

済まないと思います。次の段階として、司法の場に委ねなければならないのであれば、弁護士から通知を出してもらおうとか、財産権の侵害のような形でアプローチをすることは可能でしょうか。区役所側から働きかけたらどうかというアナウンスはできるのですか。

【黒田区政推進課長】

さらなる指導の強化につきまして、程度がかなり進んでいる物件は、建築局が空家対策特措法における特定空家に認定した上で、適正な管理のための助言指導を行います。その上でも反応がなければ、法に基づく勧告、命令、行政代執行という手続に進みます。先般、建築局から、空家対策計画を改定する旨市会に報告させていただいていますが、今後、こういった措置の強化については、法施行以後の指導の状況等を検証した上で、検討が進められると伺っています。

【伊藤議員】

今年はラグビーワールドカップ 2019 ということで、ラグビーをテーマとした展示に 60 万円が配付されるということですが、どのように展示をするのか教えてください。

【鈴木地域振興課長】

今年度も、区役所の 1 階の多目的ホールで、オリンピック・パラリンピックと一緒にラグビーの展示も行いました。来年度は具体的にはまだ決まっていますが、例えば、区役所の多目的ホールやスポーツセンターなどで、周知ができるような展示をしていきたいと思っています。

【伊藤議員】

区役所だけだと営業時間しか展示できないので、土日も区民が見ることができる場所で展示していただければと思います。

次に、みなみのみらい計画推進事業の中の統計概要の作成に関連して、現在、報道されている統計の不正問題に関し、区民や統計の対象者の方からの苦情や意見などが区役所に寄せられていますか。先週の予算研究会で総務局にも同じような質問をしたのですが、まだ報道されたばかりで答えにならなかったのです。

【野坂総務課長】

私どものところには、具体的に御意見はいただいていません。

【伊藤議員】

常任調査員さんが高齢化し、担い手がないという中で、このような問題が起きると、余計にやりづらいので辞めたいという問い合わせはありましたか。

発 言 の
要 旨

【野坂総務課長】

この問題で辞めたいというのはなく、体がきついのでお辞めになるということは聞いたことがございます。

【伊藤議員】

今のところ、一連の報道での問い合わせはないということですね。私も以前、統計選挙係で働いていたので、本当に地味な仕事だと承知していますが、信頼回復が大事だと思うので、局と連携して取り組んでいただければと思います。

最後に、すこやか子育て支援事業の児童虐待予防事業ですが、こちらも最近、千葉県の小学4年生の女の子の件が報道されています。1月9日に県会の岸部議員と児童相談所を視察し、対応件数は右肩上がり、なかなか減っていかないということでした。虐待に関する住民からの通報は、オリンピックなどで世間が盛り上がっている時は少なく、今回のように報道されると、通報や問い合わせが増えるということで、今はすごいことになっているのではないかと想像します。予算研究会で残業代が多いのはどこの局かと質問したら、こども青少年局の児童虐待の関係する職場ということでした。警察との連携はしているが、対応件数も増えて複雑化しているので、本当に大変な状況であると聞きました。南区役所だけで、どうかなるということはないのですが、本当に痛ましい事故を二度と起こしてはならないと思い、区全体で何か取り組んでいけないかということで、私なりに考えてみました。例えば、今年は選挙が4月と7月にありますが、こども家庭支援課は仕事が大変な時期かもしれないので、少し配慮してもらうことはできるのでしょうか。また、選挙も四大まつりもそうですが、通常業務以外の時に区全体でバックアップするようなことはできないのでしょうか。もちろん、局とか警察などとの連携も必要になってくるので、その点もよろしくお願いします。

【戸矢崎こども家庭支援課長】

ありがとうございます。先生のおっしゃるとおり、こども家庭支援課の児童虐待を対応する職員は、日々頑張っています。夜間や休日の対応も多くあり、年末年始、ゴールデンウィーク10連休など、心配なところはありますが、対象となる家庭の状況を前もって把握し、態勢を取るなどの対応をしています。また、色々な方面から相談や気になる情報もいただいております。日々サポートいただいていると思いますが、区として配慮してもらえるかどうか調整したいと思っております。

【伊藤議員】

発言の
要旨

頑張っていただけだと思います。よろしくお願いします。

【仁田議員】

1 ページの予算の総括表にある市民局の配分見直しによる減額とは、どういうことですか。

【総務課長】

市民局で区づくり推進事業の配分する際、色々な指標があり今回廃止された指標に、市税と国保の収納率があります。今まで南区はこの指標がよかったです。指標が無くなったため、配分額が少なくなりました。

【仁田議員】

局の配分の考え方についての議論と思いますが、それだけ収納率が今まで優秀で、頑張っていたということだと思います。

それから、地域の力応援事業のコーディネーター派遣事業ですが、最近、様々な良いイベントが行われたり、土日にも関わらず、コーディネーターが相談に乗るなど、コーディネーターの活躍ぶりが目立ちます。地域の力をさらに応援するという意味では、コーディネーターの育成というのが大事だと思いますが、区としてどのようにお考えでしょうか。

【鈴木地域振興課長】

地域の課題解決に繋がるような担い手づくりなどのコーディネート機能ということで、一つには、区民活動支援センターが行っています。地区センターやコミュニティハウスなどの区民利用施設が、単なる自主事業ではなくて、地域の課題解決につながるような自主事業ができるようなことをお手伝いできるようなコーディネーターなどを派遣しており、例えば道の名前をつけるというような事業を地域がやりたいと言った時にお手伝いするコーディネーター派遣の実績があります。その意味では、地域の方がコーディネーターになっていただくというよりは、区民利用施設などのコーディネート機能を強化していったり、お手伝いするというようなことを考えております。

【仁田議員】

質問の趣旨とお答えが、すれ違ったように思います。何を支援するのかというお答えだったと思いますが、コーディネーターそのものの質の向上というのが大事だなと思うので、コーディネーターの育成にしっかり取り組んでいただければと、要望しておきます。

次に、みなみ減災推進事業の地域防災拠点運営強化事業にある掲示シートとは、どのような物でしょうか。

【野坂総務課長】

発 言 の
要 旨

例えば、ごみの分別など、実際に災害が起きた時には、なかなか表示しにくいと思うので、想定されていることについて、あらかじめ作って地域防災拠点に渡しておくことを考えています。

【仁田議員】

先ほど荒木議員から、防災マップの配布は、それを受け取る一人一人の意識の中に入るような取組が大事だ、という重要なご指摘がありました。同じような趣旨で言いますと、総務局の防災減災推進研修を履修された推進員が地域にいらっしゃいますが、その方々は、自助、そして共助を進めるための研修を受けており、町の防災組織で自助、共助の重要性の啓蒙を手掛けていると思いますが、その方々とのタイアップというのは考えていないのでしょうか。

【野坂総務課長】

具体的にその方たちに何かをしていただくことはありませんが、前回も仁田先生からその方々を活用すべきではないかというご意見をいただきましたので、例えば、防災拠点でご活躍していただいたり、町内会の防災訓練でもご活躍していただくようなことを念頭に入れながら、事業を進めていきたいと思っております。

【仁田議員】

現状は、あまり連携が密ではないようですので、より意識して、推進員の活躍の場を考えていただきたいと思います。

南区あったかいふるさとまつり事業の桜まつりで、要望が多いトイレ問題ですが、今回は仮設トイレの増設とありますがどこに作るのでしょうか。

【鈴木地域振興課長】

これまでは、商店街の駐車場を借りて設置したり、川沿いから少し離れた場所に設置したので、分かりにくいというご意見もございました。具体的な場所は未定ですが、川沿いのどこかに作れないかと考えております。土木事務所や警察との調整もありますので、まだ具体的にどこかとはお答えできません。数についても既存箇所については増設するとともに、大変苦情も多かったので、水洗化を必ずしていきたいと思っております。

【仁田議員】

水洗化というのは、増設するトイレを水洗化するのではなくて、既存のものを水洗化するという意味ですか。

【鈴木地域振興課長】

まつり期間の仮設トイレについての水洗化ということです。

【仁田議員】

発 言 の
要 旨

最後に、区庁舎環境整備等事業にある職員の資質向上事業に関連してですが、冒頭に区長からお話のあった記者発表の件、区民の方からも問い合わせがあったので、伺いたいと思います。1月23日に記者発表された人権研修は、この事業の職員向け人権啓発研修や区民を対象にした人権啓発講演会という理解でいいのでしょうか。

【野坂総務課長】

はい。2つ目の区民を対象にした人権啓発講演会というところが、今回の講演会です。

【仁田議員】

記者発表資料では、会場が取れていないことに職員の方が気づいて、あのような措置をされたということです。しかし、会場が取れていないことが分かったのはいつだったのか記載がないので、いつ分かったのかという問い合わせがありました。どのように理解したらよろしいのでしょうか。

【総務課長】

9月13日に職員自身が事業者の方にできなくなったということ連絡していますので、少なくとも、9月13日より前かというふうに思っております。

【仁田議員】

単刀直入に申し上げますと、会場を取れていないということを総務課長が確認したのはいつですか。

【野坂総務課長】

私共がわかったのは、10月2日になります。

【仁田議員】

普通はその時におやっと思うはずですが、その時の対応はどうだったのでしょうか。

【野坂総務課長】

私も公会堂が取れていないということを聞きまして、まさかと思ったのですが、実際には取れていなかったということでした。それで、急ぎよ別の場所を押さえるという行動を取ったということでございます。

【仁田議員】

その時に、そういうことが起きたこと自体に不自然さを感じ、どうしたことなのかを確認されることがあってしかるべきだと思うのですが、いかがでしょうか。

【野坂総務課長】

そういう意味では、10月2日の段階で公会堂が取れていないことがわかりまして、担当者に話をしました。ただ、担当者もまさか取れていないと

発言の
要 旨

は思っていなかったと非常に驚いたような発言もありましたので、そういう意味では、実際にそういうことが行われていることは、その時はまったく想定してございませんでした。今からすればという話かも知れませんが、申し訳ございません。

【仁田議員】

それぞれが気付かなかったこと、更には、その後の問題意識を持ってなかったことを反省されていると理解すればいいのでしょうか。

【野坂総務課長】

そういう意味では、結果として、こういうことを起こしてしまったことで、先生方をはじめ、皆様方にご迷惑をお掛けしました。やはり組織として気付かなかったことは、一つの課題だと深く反省しております。

【仁田議員】

再発防止策が書かれています。とても大事なことだと思いますが、複数人で業務を執行管理するよう徹底しますというのは、現状もそうなっているけれども、今回は不十分だったということでしょうか。

【野坂総務課長】

本件で言えば、当該職員は、前任の職員と係長との間に座って、サポートを受けながら業務を進めておりました。決して、一人でやらしていたということではないのですが、何かしら徹底できていなかったところがあったのではないかと思います。そういう意味では、更に更に徹底していくべきだと思っております。

【仁田議員】

電子メールでは、上司や同僚職員等を宛先に追加することを改めて徹底すると書かれています。「改めて徹底」ということは、本来もそうあるべきだったと読めるので、今回もメールのやり取りが確認できていたのではないかというように思うのですが、なされていなかったということですか。

【野坂総務課長】

もともと、外部にメールを出す時には、必ず CC で宛名を入れるという話はしています。ただ、今回問題となったメールについては、CCに入っていなかったということです。そこで、もう一度基本に立ち返って、対外的にメールで業務をする場合には、必ず上司を CC に入れることを徹底するということです。

【仁田議員】

改めて徹底ということは、これまでも本来はそうあるべきだったと読みました。そうだとすれば、必ず相手先とのやりとりに気付くはずだと思う

発言の
要旨

ので、その再徹底をしっかりとお願いしたいと思います。

最後の部分に、適正な事務処理の徹底について注意喚起しますとありますが、注意喚起をすることはもちろん、職場の中でそういうことが起きてしまったことについて、上下関係がどうなのかということも含めて、率直に相談できるような職場環境であったり、ミスなどに対しても前向きに対応できる組織であっていただきたいと思います。そのような職場づくり、環境づくりにこれからも努力をしていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

【遊佐議員】

大木区長は、これが最後の区づくり会議になると思いますが、大変お世話になりありがとうございました。最後にこんな問題がありましたが、今、仁田先生が言ったように、方策というのは色々あると思います。

また、オリンピックの件でも、本当にお世話になりありがとうございました。区長が財政局で堅い顔をして、怖い顔をしている姿をご存じない職員もいるかも知れませんが、まさか、はっぴを着て、タオルを売り込むような区長だとは思わなかったのも、そういう意味では本当に楽しかったし、また財政のプロとして、私も勉強させてもらったこともたくさんあり、この期間本当にお世話になりました。

そんな中、次に道を作ってもらいたいという意味では、今の仁田先生の話もそうですし、オリンピックの話もそうです。また、水道交通委員会の委員長をやらせてもらっているのも、地下鉄の最寄駅である阪東橋駅と何かタイアップしながら、今後色々やって行かれるような道筋を作ってもらいたいと思います。ブルーラインの中では、南区の地下鉄は特に古い駅であり、改修工事はしているが、抜本的な改修や全面リニューアルはなかなかできない。そんな中でも地下鉄の駅のトイレというのは、街の顔だと思います。ラグビーやオリンピックもあるので、普段使わないたくさんの人でも地下鉄を利用されると思います。そういう意味では、大阪市は、橋下元市長の号令で市営交通を民営化して、地下鉄も駅が全部リニューアルされ、とても綺麗になり、市民は喜んでいますが、橋下元市長のいうトイレは、うちで言う林市長の待機児童ゼロなのかなと私は思っています。一方、京都は観光客がたくさんいるのに、駅もトイレも古くて汚い。横浜もそうになって欲しくないと思いますが、実は、横浜の地下鉄のトイレでは、ビニール袋に空気を入れて嗅ぐという、横浜にしかない検査を行っています。古いけれども何とか綺麗にしようと努力しているので、何か区と一緒にタイアップした事業をやってもらえたらと思っています。

発 言 の
要 旨

<p>発言の 要旨</p>	<p>また、ごみに関して言えば、工場への 24 時間搬入が 4 月から本格実施となります。区民にとって、一番身近なのは区役所だと思うし、3R 夢プランの事業も行っているの、24 時間搬入になることによって、事業ごみについては、特に綺麗になっていくと思いますし、家庭ごみもいい相乗効果を持つと思います。そして、区民の理解を高めることが、南資源循環事務所の建替えにも繋がってくると思うので、今後も是非 PR してほしいと思っています。桜まつりの時期は選挙中なので、おそらく議員は個別には行くと思いますが、正式な会議という意味では、今日が最後だと思うので、区長には本当にお世話になりありがとうございました。これからも道をちゃんと作ってもらえればと思うので、よろしくをお願いします。</p> <p>【荒木議員】</p> <p>先程の講演会の件で、私も一点だけお聞きします。</p> <p>事業者の方から指摘があって、今後の対応は再度協議ということですが、このイベントを期待されていた方もいらっしゃると思うので、再度講演をやっていただくような依頼はできるのでしょうか。キャンセルして、次はもうないのでしょうか。今はどういう段階ですか。</p> <p>【野坂総務課長】</p> <p>一度キャンセルをしております、現在のところ、再度というお話はございません。</p> <p>【荒木議員】</p> <p>こちらのミスなので、相手の感情を考えればそうかも知れませんが、区民にあれだけアピールしていたので、聞きたかったという方も当然にいらっしゃるでしょうから、またそういう機会があったらお願いをしたいというのが一点です。それから、記事が出てから、私もツイッターやフェイスブック見ていましたが、市民感情的に怒っているコメントがもっと多いのかなと思ったけど、意外とそうでもなかったです。でも、情報共有していないのが問題だというコメントが書かれていました。やはり「報・連・相をきちんと行う」という大前提を誰かが言わない限り変えられないことなので、初歩的なミスが起きないように考え方を皆さんで是非共有していただければと思います。</p>
<p>備考</p>	